

※解答欄が足りない場合は、ワークシート裏面に書くこと

2020年2月14日朝刊

① アメリカの大統領選挙の仕組みを調べてまとめよ。

序盤に沈んだバイデン氏

【ワシントン共同】米大統領選の民主党候補指名争いは、12日までに終了した序盤2州の戦いで、トランプ大統領に勝てる「当選力」を前面に出してきたバイデン前副大統領の沈み込みが鮮明になった。初戦の中西部アイオワ州党員集会で左派サンダース上院議員や最若手ブレイジエツジ氏らが先行、長らくバイデン氏を



バイデン前米副大統領



当選力の見方が急変

有権者「他候補でも勝てる」

最有力視してきた有権者が「他候補でも勝てる」との考えに急速に傾いたことが世論調査などから浮かび上がった。

11日の東部ニューハンプシャー州予備選を巡りワシントン・ポスト紙が12日伝えた出口調査によると、投票者の63%が候補者選定の決め手は「トランプ氏に勝てること」と回答。うちブレイジエツジ氏に投票した人は最多の28%、サンダース氏が21%、クロブシャー上院議員が21%と続いた。バイデン氏は10%で5位だった。

キンピアック大の全米世論調査では「トランプ氏に一番勝てる候補は」との問いに対し、1月28日発表分までは一貫して民主党支持者の40%以上がバイデン氏を挙げていたが、予備選直前の10日発表の調査では27%まで落ち込み、24%まで上げたサンダース氏が肉薄した。3月から指名争いに本格参戦するブルームバーグ前ニューヨーク市長も17%に急伸し、3位に入った。2月下旬に西部ネバダ、南部サウスカロライナ両州で第3、第4戦に背水の陣で臨むバイデン氏。強みとされる黒人やヒスパニック（中南米系）の票を集めることで態勢を立て直せなければ、選挙戦からの早期撤退を迫られる公算が大きい。

② アメリカの二大政党（民主党と共和党）のそれぞれの立場を調べてまとめよ。

③ 日本の内閣総理大臣指名選挙を調べ、アメリカ大統領選挙と比較して考えるところを述べよ。

年 組 名前

作問者：NIEアドバイザー 実石 克巳（静岡県立静岡高校 教諭）

（高校／国語）

＜参考＞①＝政治学、国際関係学に関する問題、②＝政治学、国際関係学、比較文化学に関する問題、③＝政治学、国際関係学、法学に関する問題